



1. 揺れる自民党（派閥の裏金問題）

- ▶ 昨年に勃発した裏金問題
- ▶ 安倍派、二階派、宏池会、平成研、麻生派が政治資金パーティーの収支報告書に虚偽の記載をしたとして告発を受ける
- ▶ 安倍派…5年間で6億7503万円で会計責任者が在宅起訴
- ▶ 二階派…5年間で2億6460万円会計責任者が在宅起訴
- ▶ 宏池会…3年間で3000万円で会計責任者が略式起訴
- ▶ 平成研、麻生派…838万円、918万円で告発されている
- ▶ 安倍派、二階派、宏池会、谷垣Gは解散、平成研、麻生派は政策集団として存続。（平成研はかけもち可）無派閥連絡会などが新たに立ち上がり、政策集団の再編が進む。

2. 政治倫理審査会

- ▶ 衆議院：
 - 2月29日 岸田総理、武田元総務相
 - 3月1日 塩谷元文科相、高木前国対委員長、西村前経産大臣、松野前官房長官
 - 今後？ 下村元文科相、
- ▶ 参議院：世耕前参議院幹事長
- 新たな内容は、出てこず、野党は、証人喚問などハードルを上げていくのか？
- 岸田総理は、外圧によって安倍派処分を重いものにしたが、率先して改革の姿勢を示さないことで、支持率は下降傾向。

3. 政治資金パーティーの趣旨

- ▶ 政治資金パーティーは、政治家と企業の癒着をなくするため、企業団体からの政治家個人への多額の寄付をさせないように、より多くの国民から、寄付を募るという趣旨
- ▶ 5000円や1万円でも、政治資金パーティーとして記載する義務
- ▶ 年間4000万円から4500万円かかる経費

内訳

- ① 1200万円（自民党政党助成金）
- ② 1200万円（文書交通費）
- ③ 残り2000万円（寄付や政治資金パーティーで賄う）

4. 派閥の政治資金パーティー

- ▶ 派閥で毎週末曜日に事務所でお昼ご飯を食べて情報交換（事務所費、人件費、お昼代など）
- ▶ 講師を呼んでの勉強会、懇親会、河口湖での研修合宿（講師謝金、会合費、宿泊費など）
- ▶ 総裁選でかかる費用！

- ① 候補者の遊説費用（全国を回って党員との対話集会）
- ② リーフレットやはがき、チラシ作成と郵送代
- ③ 電話作戦代

5. 政治資金規正法

- ▶ 1回の政治資金パーティーで同じ人・団体から20万円超の支払いを受けた場合、名前・金額などを政治資金収支報告書に記載しなければならない。
- （政治家個人ならどの団体に購入してもらったか秘書間で情報共有可能だが、50人を超える派閥では、どの政治家がどの団体に依頼したのか「が」が「さん」だったのでは）

そもそも

- ▶ 政治活動に資するものであれば、なんでも書けるザル法。
- ▶ 過去には、ガリガリ君購入や女性用キャミソール購入などが週刊誌ネタに

《出席報告》

会員数 47名 出席者数 22名 出席率 46.81 %
 前回修正47名 出席者数 31名 出席率 65.60 %

6. 政治改革の方向性

- ▶ 政治資金規正法の改正
 - ① 連座制の適用
 - ② 20万円以下の記載の引き下げ
 - ③ 個人寄付におけるプライバシー
- ▶ 政策活動費の透明化
- ▶ 党本部に人事局など評価を設置
- ▶ 政策集団と総裁選のあり方

7. 政党法

- ▶ 政党の活動は、国家意思の形成にかかわり公的性質をもつものであるから、その定義、性格、目的、活動基準などを政党法で包括的に規定すべきとする考え方があ
- ▶ 一方、本来自由、自発的であるべき政治活動に、国家権力が介入、規制することは許されないと反対論がある。
- ▶ 日本ではこれまで、政治資金規正法や公職選挙法などで、法の適用を受ける政党の要件などに限定した事項を規定することにまわっている。
- ▶ 政党への公的助成を導入した政党助成法でも、助成の対象となる政党の要件、助成の総額、配分基準など助成に必要な範囲内で規定した。
- ▶ これに対しては、自民党から政党に法人格を付与すべきだと主張が強く出されたが、日本社会党(当時)には慎重論が強く、選挙管理委員会が政党認証の手続きをとる政党法人格付与法が1994年11月成立した。これは、政党への国家機関の干渉をもちたらしめない政党法は避けようとの考えに基づく。

8. 政治活動の自由

- ▶ 政治活動の自由は、信仰や表現の自由と同様、自らがどのような思想に基づき活動しようとも、他人に迷惑をかける限り、その自由は許される。民主主義の土台ともいえる。
- ▶ 国家による介入は、好ましくないものの、政治団体におけるお金の使い方などについては各党でオープンにしていけるべき。ちぐはぐな状況をいったん全部見直すべき
- ▶ オープンにしたところで、それをしっかりとチェックする機関がなければならない。会計検査院のような機関も併せて必要
- ▶ 政治団体だけでなく、「公的機関」をどう定めるかという議論も大切

9. 今年の政治日程

- ▶ 4月に島根県、長崎県、江東区で補選
- ▶ 6月～8月にかけて、来年の参議院選挙の候補者選定
- ▶ 4月訪米後、7月までに総選挙？
- ▶ 9月総裁選挙
- ▶ 総裁選までに岸田総理が総選挙を打てるかどうか。

10. 派閥なきあとの自民党

- ▶ 安倍派は瓦解（5人衆がリーダーとしてカムバックするのは難しいのではないか。福田派の復権か）
- ▶ 茂木派（小淵優子氏と青木一彦氏の退会、参議院幹事3人+3人の退会は大きな痛手）
- ▶ 麻生派（総裁選で麻生氏が河野氏を応援するかどうか？分岐含む）
- ▶ 水月会（石破氏が活動再開→総裁選への布石か）
- ▶ 総裁候補のいない二階派は解散後、一定のまとまりを維持するが、総裁選ではバラバラの支援になるのでは
- ▶ 宏池会（46人は一致団結、岸田総理もしくは上川外務大臣、林官房長官を支える部隊となる）

▶ 総選挙を乗り越えられれば、岸田総理続投とある可能性が高い。総選挙を打てず、宏池会のたれかを立てて、キングメーカーとして君臨する可能性も。



WEEKLY REPORT

本日の例会 [2684 th] 2024.3.14

株式会社 エフ・シー・エス
代表取締役 **金丸まゆ氏**

前回の例会 [2683 th] 2024.3.7

立正大学 社会共生学部公共政策学科
准教授 **大沼 瑞穂 氏**

- ・ 点鐘12時30分 鈴木 司郎 会長
- ・ 国 歌 君 が 代
- ・ ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ ソングリーダー 梅津陽一郎君
- ・ S A A 大浦英樹君

会長あいさつ

庄司 薫 副会長

みなさんこんにちは。まず初めに本日のゲストスピーカーをご紹介します。

「大正大学 社会共生学部公共政策学科 准教授 大沼 瑞穂 氏」です。後ほどご講話をいただきます。

さて、先月の15日、22日と2週続けて欠席となり、庄司副会長には会長代理として務めいただき誠に有難うございました。立派な会長挨拶だったとお聞きしております。

あっという間に3月に入り各校では卒業式が執り行われております、年度末、そして4月には入学式、年度初めと大きく切り替わる時期がやってきます。ロータリークラブにおいては6月末までの任期、7月より新年度が始まり、金子会長が大いに力を発揮する年度となります。私も残り4ヶ月ロータリーを精一杯楽しんでいきたいと思っております。

ロータリーの在るべき姿とは、ロータリーは①親睦と学びを基準に、②立派なロータリアンを育てながら、③価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体であるとビジョンを掲げております。お陰様で、今年度新会員純増6名が新たな仲間に加わり、立派なロータリアンとなるように、今後とも諸先輩方のご指導よろしく申し上げます。それではお食事をお取りください。

《エレクトの時間》

金子良弘 会長エレクト

- ・ 2024-25年度クラブ役員委員会構成表をご覧ください。次年度から一人2委員会在籍となります。

《委員会報告》

広報情報委員会 福島 悟 委員長

- ・ 鈴木敬之委員より今月の「友」の見所が届いております。ご一読ください。ガバナー月信には新入会員の庄司君と金子君が掲載されております。

親睦活動委員会 島崎 裕司 委員長

- ・ 4月18日 16:30分より 錦爛酒造(株)さんの酒蔵廻りをお借りして「観桜会」を開催いたします。登録料：3,000円

スマイルBOX

誕生祝い

小平 和広君・青木 道春君
高橋 宏之君・鈴木 司郎君

結婚祝い

加藤由香里君

- ・ 二週間例会をお休みし、庄司副会長に代理挨拶をお願いしました。感謝です。

鈴木 司郎 君

- ・ 大沼先生とは昨年秋に東京でお食事する機会があり、今回ゲストとしてお呼びすることができました。

金子 良弘 君

- ・ 米鶴酒造の蔵開きを4月7日に開催します。

梅津陽一郎 君

- ・ 大沼先生も私と同じ慶応義塾大学出身です。

福島 悟 君

- ・ 先月一週間ほど入院してきました。家業はスタッフが切り盛りをしてくれました。

井田 和史 君

今回の例会 [2685 th] 2024.3.21

ひっほりゅん 例会
高砂屋珈琲店